

いわて東北メディカル・メガバンク機構 研究計画書(概要)

研究番号	2023-3002	研究題目	TMM追跡データを用いたポリジェニックスコアと脳卒中発症リスクの関連分析	研究期間	西暦2023年4月10日 ~ 西暦2026年3月31日(予定)
実施責任者	清水 厚志	所属	いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門 / 医歯薬総合研究所 生体情報解析部門	職位	教授
研究目的	東北メディカル・メガバンク(TMM)計画が地域住民コホート調査(CommCohort Study)で収集したベースライン調査及び追跡調査結果を用い、いわて東北メディカル・メガバンク機構(IMM)がGIGASTROKE計画との共同研究で開発したポリジェニックスコア(PGS)と脳卒中発症リスクとの関連分析を行う。				
研究計画概要	<p>いわて東北メディカル・メガバンク機構(IMM)地域住民コホート調査では、“③疾病罹患(死亡)情報を長期的に追跡することによって、遺伝要因と環境要因と疾患罹患(死亡)との関連、およびエピゲノム変異や遺伝子発現変異、と環境要因と疾患罹患(死亡)との関連を評価する。(研究計画書改訂13版 p6)”ことを研究目的の一つに掲げている。近年、ボルドー大学のStéphanie Debette教授らとの共同研究により、10万名超の患者を含む大規模な脳卒中のゲノムワイド関連研究を報告した(GIGASTROKE STUDY)。この研究の中で我々は、これらの大規模なゲノムワイド関連研究の成果として得られるGWAS統計量を用い、高精度な脳卒中ポリジェニックスコア(PGS)を作成した。PGSを脳卒中の個別化予防に役立てるために、前向きコホートを用いて遺伝要因と環境要因(生活習慣を含む)を加味した関連分析を行うことの意義は大きい。そこで、IMMが収集したベースライン調査情報及び追跡情報を用いて、PGSと脳卒中罹患リスクとの関連を評価する。</p>				